



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『地方創生』でまちは活性化する 小林勇治・波形克彦 編著(同友館)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



最近、よくニュースで耳にするようになった『地方創生』。この本は、中小企業診断士の研究会が地方創生事業の展開に役立つことを願って取りまとめたもので、地方の商店街や企業、アメリカやヨーロッパ各国のまちづくりまで、たくさんの地域の活性化事例を紹介しています。ちなみに群馬の事例としては、元プロ野球選手の河野博文さんの農業法人の活動が取り上げられています。

先日の新聞記事に、若い女性が群馬に戻りたくないという県のアンケート結果を載せていました。国の「日本遺産」に認定された「かかあ天下」の群馬県。地域の活性化のためには、まちに住みたい人がいなければ始まりません。住む人がいるからこそその“まちづくり”です。戻って来て住みたいと思う、魅力のあるまちをつくるためには、ブランド力を高めることが大切です。まちづくりに関してまだ日が浅い人にも、わかりやすく読み進むことができる内容になっているこの1冊。たくさんの事例が出ているので、1つの事例をちょっとした時間に読むのもよし。また、時間をかけて、じっくり読み込むのもよし。この本からヒントを得て、ほかの先駆けとなる事例が、群馬でたくさん生まれることを期待します。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

NPO法人 住・環境支援ネット 萩原 香



萩原 香さん(一番左)



講座の様子

平成26年度のパートナーネットワーク講座を受講し、今年7月、認定証を頂きました。

大下先生はじめ、アシスタントの山根さん、事務局の皆様そして参加された皆様には、大変お世話になり、感謝ばかりです。昨年8月、10月、11月と難易度がアップしていく講座では、「常識というブレーキをはずす」など、大下先生の講義の中の多くのキーワードが、強く印象に残りました。課題の数々に悩まされながらも、その雰囲気は終始穏やかで、緩急ありながらの楽しい講座でした。複数のそれぞれ異なる

意見を調整しながら、限られた時間で、納得する結論を導き出すファシリテーターの役割の重要性を実感しました。

また、渋川市、みどり市でも研修がありました。特に歩いて廻った渋川市内での、へそ地蔵、美味しいお店、建物、川などの景観に、新たな魅力を発見しました。自分が暮らす前橋の魅力をきちんと認識しているのかと、顧みる機会にもなりました。講座後、まだファシリテーターとして経験はありませんが、例えば、会議で進行する場合や、当団体で取り組んでいる住教育のサポートの場面でも、講座の成果を発揮する機会は数多くあると思っています。貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

マーチィの掲示板

まっちい〜ズがゼミ合宿に参加しました



9月10日(木)隔号の連載でお世話になっている帝京大学観光経営学科大下ゼミの合宿が行われているとのことで、甘楽町に行ってきました。

ゼミ合宿は9月9日(水)~11日(金)の3日間で、台風18号から変わった低気圧の影響により悪天候でしたが予定どおり開催。大下ゼミでは学生さんの目線から道の駅 甘楽を中心とした甘楽町の観光振興を目的とした連携プログラム企画型事業に取り組んでいます。今回も道の駅 甘楽での物販コーナーに町の姉妹都市イタリア・チェルタルド市のワインと合う地場産野菜を用いたレシピを考え、ワインやパスタそして甘楽のおいしい野菜をPRするコーナーを設置したり、まち歩きにビンゴゲームの要素を取り入れ

るなど、新しいアイデアを提供していました。初日には上毛新聞社さん、2日目は道21世紀新聞ルートプレス21さんの取材を受けたりと、学生さんと地方の都市とのまちづくりの取り組みは最近とても注目されています。まっちい〜ズがおじゃました日は、午前中にまち歩き、午後はワークショップでしたが、学生の皆さんが楽しみながら、アイデアを出し合い発表する様子に元気パワーをもらってきました。おっ!!まっちい〜読者の皆さまも、甘楽町を訪れることがありましたら、道の駅 甘楽に寄っててください。そして帝京大学の学生さんたちの活動を、ぜひ応援し見守ってください。

